

学部 / 看護専門領域 / 看護援助の方法

科目コード:120312

老年看護方法論Ⅱ Gerontological Nursing Ⅱ

担当教員	北村言、中道淳子、大橋史弥、近藤孝朗				
実務経験	複数の教員が担当しており、全員に病院勤務経験がある。				
開講年次	2年次後期	単位数	1	授業形態	講義, グループワーク
必修・選択	必修	時間数	15		
Keywords	高齢者 認知症 アセスメント				
学習目的・目標	[目的]疾患を抱えながら生活する高齢者がその人らしく生きることを支える看護を理解する。 [目標] 1. 疾患が高齢者に与える影響を理解し、生活に必要な支援を述べることができる。 2. 高齢者の強みを捉える視点をもつことができる。				
授業計画・内容					
回	内容				
1	入院中の高齢者への看護				
2	慢性疾患を抱える高齢者への看護				
3	地域で生活する高齢者への看護				
4	認知症を有する高齢者への看護、コミュニケーション				
5-8	認知症を有する高齢者のアセスメントと看護(グループワーク+発表)				
教科書	老年看護学概論(改訂第4版), 南江堂、老年看護学技術(改訂第4版), 南江堂				
参考図書等					
評価指標	グループワークへの参加・発表(40%)+ レポート(60%) *講義、グループワークの時間数の2/3以上の出席がなければ、レポート提出を受け付けず、評価の対象にはならない。 *レポート提出期日は講義最終日の2週間後とする。				
関連科目	老年看護学概論、老年看護方法論Ⅰ、認知症高齢者ケア論				
教員から学生へのメッセージ	単位取得にはグループワークへの参加が必須です。				